

「姫路市国際化推進プラン（案）」に対する  
市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

1 市民意見の提出状況

- (1) 案 件 名：姫路市国際化推進プラン（案）
- (2) 意見募集期間：令和3年12月24日（金）～令和4年1月24日（月）
- (3) 意見提出件数：3通9件

2 市民意見の内容

項目	件数	市民意見への対応	
		意見により案を修正するもの	案に記載済、又は今後の参考とするもの
国際化推進全般に関するもの	1件	0件	1件
基本目標1「多様性（ダイバーシティ）を尊重する意識づくり」に関するもの	2件	1件	1件
基本目標2「包摂性（インクルージョン）のある暮らしやすい社会の構築」に関するもの	2件	0件	2件
基本目標3「様々な国際交流による相乗（シグナー）効果の創出」に関するもの	4件	2件	2件
合 計	9件	3件	6件

### 3 意見の概要と市の考え方

#### ◎国際化推進全般に関するもの

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
1	10	姫路市の海外姉妹都市等に「姉妹庭園：鷺鳳園（フェニックス市）、提携年：2017年」を追記してはどうか。	(参考意見) 鷺鳳園（フェニックス日本親善庭園）は、フェニックス市・姫路市姉妹都市提携40周年を記念し、平成29年（2017年）に好古園と姉妹庭園提携を結びました。これらの取り組みは、姉妹都市であるフェニックス市との交流の一環として捉えておりますので、現状のままとさせていただきます。

◎基本目標1「多様性（ダイバーシティ）を尊重する意識づくり」に関するもの

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
2	18 24	P.18の「基本目標1 人権意識・国際感覚豊かなひとづくり」の今後の課題として、外国人市民・日本人市民がそれぞれの文化を紹介し合う場や、市民・企業・関連団体等の協働による多様な交流等が必要である旨追記してはどうか。	<p>(修正)</p> <p>国際交流センターでは、外国人市民と日本人市民が互いの文化や価値観への理解を深めることが出来るように、多様性を受け入れる交流の場を提供しております。これらの取り組みをより多くの方に知っていただけるよう、情報発信のやり方を工夫しながら周知を図ってまいります。</p> <p>一方、様々な主体と協働して国際交流等を行うことで、より一層外国人市民と日本人市民の交流を進め、市民の人権意識を醸成することが出来るものと考えますので、頂いたご意見を参考に、基本目標1の今後の課題(P.18)と主な施策の内容(P.24)に追記いたします。</p> <p>P.18</p> <p>(旧)</p> <p>イベントや講座などの内容や方法を工夫するとともに、様々な方法で情報発信を行い、幅広い人に関心を持ってもらうようにすることが必要です。</p> <p>(新)</p> <p><u>様々な主体と協働しながら</u>イベントや講座などの内容や方法を工夫するとともに、<u>多様</u>な方法で情報発信を行い、幅広い人に関心を持ってもらうようにすることが必要です。</p>

(続き)

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
—	—		<p>P. 24</p> <p>(旧)</p> <p>市内もしくは周辺に住んでいる外国人と市民が交流する機会の提供を図るとともに、互いの文化に対する理解を深めることを目的として、様々な体験イベントやワークショップ等を開催します。</p> <p>(新)</p> <p>市内もしくは周辺に住んでいる外国人と市民が交流する機会の提供を図るとともに、互いの文化に対する理解を深めることを目的として、様々な体験イベントやワークショップ等を開催します。<u>また、企業や各種団体の協力を得ながらイベントの充実に努めます。</u></p>
3	24	外国人サークル等外国人交流の場の提供やイベントの開催を期待する。	<p>(参考意見)</p> <p>ひめじ国際交流フェスティバル等、外国人の方の交流の場やイベントについては、国際交流センターをはじめ、市内各地において開催しております。今後もニーズに応じたイベント等を行い、国際交流センターや(公財)姫路市文化国際交流財団の取り組みをより多くの人に知っていただけるよう、情報発信・周知を図ってまいります。</p>

◎基本目標2「包摂性（インクルージョン）のある暮らしやすい社会の構築」に関するもの

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
4	27	市内にも在留資格「留学」が認められる日本語教育機関等が必要である。	<p>(参考意見)</p> <p>本市には在留資格「留学」が認められる日本語教育機関等がございます。これらの日本語教育機関等については、出入国在留管理庁のホームページをご確認ください。</p> <p>■ 出入国在留管理庁ホームページ  <a href="https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri07_00217.html">https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri07_00217.html</a></p>
5	27	各々の日本語能力や希望に応じた日本語学習の場が必要である。	<p>(参考意見)</p> <p>外国人の方にとって、日本語習得は日本で生活を行う上で必要不可欠であり、本市においても日本語教育等の推進は重要な事業と認識し、様々な取り組みを行っております。施策体系図（P.22）の通り、今後も市内日本語教室と連携、情報共有し、学習者のニーズに基づいた場の提供に取り組んでまいります。</p>

◎基本目標3「様々な国際交流による相乗（シグマ）効果の創出」に関するもの

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
6	19	<p>在住外国人等に姫路の地域資源に親しみを持ってもらえるように、P.18の「基本目標2 外国人が暮らしやすい環境づくり」の今後の課題として、姫路城以外の市内公共施設等の多言語表示に関する内容を追記してはどうか。</p>	<p>(修正)</p> <p>公共施設等の多言語表示に関しては、外国人観光客や外国人市民が安心して過ごすために必要な施策と考えます。当該施策については、基本目標3に基づき取り組んでおりますので、頂いたご意見を参考に、基本目標3の今後の課題として、追加いたします。</p> <p>(旧)</p> <p>日本人市民へのアンケート調査では、現状として「国際的な催しや会議・イベントが活発に行われている」と認識している割合も低くなっており、アクリエひめじの活用も含め、市民が海外と触れる機会を増やしていく必要があります。</p> <p>(新)</p> <p>日本人市民へのアンケート調査では、現状として「国際的な催しや会議・イベントが活発に行われている」と認識している割合も低くなっており、アクリエひめじの活用も含め、市民が海外と触れる機会を増やしていく必要があります。<u>また、外国人観光客や外国人市民が分かりやすいように公共施設、観光施設及び文化財などの案内板等を多言語にて表示していく必要があります。</u></p>

(続き)

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
7	19 34	P. 18 の「基本目標 1 人権意識・国際感覚豊かなひとづくり」の今後の課題として、日本独自の文化（茶道や生け花など）を海外に紹介する場の必要性について言及してはどうか。	<p>(修正)</p> <p>海外姉妹都市等との友好親善交流や青少年交流を通して、異なる文化を紹介し、互いの違いを認め合うことは、市民同士の交流を深め、多様な国際交流の推進に繋がるものと考えます。さらに、感染症の流行や災害などの緊急事態に備え、オンラインを活用するなど、新たな形での国際交流が必要です。</p> <p>これらの取り組みについては、基本目標 3 に基づき取り組んでおりますので、頂いたご意見を参考に、基本目標 3 の今後の課題 (P. 19) と主な施策の内容 (P. 34) に追記いたします。</p> <p>P. 19</p> <p>(旧)</p> <p>コロナ禍で、海外への渡航が制限されますが、海外姉妹都市等との交流が途絶えないよう、オンライン交流など新たな形での国際交流を進めることが必要です。</p> <p>(新)</p> <p>コロナ禍で、海外への渡航が制限されますが、海外姉妹都市等との交流が途絶えないよう、<u>オンライン等を活用し、お互いの文化や観光資源等を紹介するなど</u>、新たな形での国際交流を進めることが必要です。</p>

(続き)

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
—	—		<p>P. 34 中段</p> <p>(旧)</p> <p>海外姉妹都市等との友好親善交流をはじめ、文化的交流や観光交流、経済交流など幅広い分野での交流を深めると共に、民間交流の支援も行います。また、市民の国際感覚を養うため、市民同士の交流も行います。</p> <p>(新)</p> <p>海外姉妹都市等との友好親善交流をはじめ、文化的交流や観光交流、経済交流など幅広い分野での交流を深めると共に、民間交流の支援も行います。また、市民の国際感覚を養うため、市民同士の交流も行います。<u>さらに、ICTを活用した新たな交流機会の創出にも努めます。</u></p> <p>P. 34 下段</p> <p>(旧)</p> <p>海外姉妹都市等でのホームステイを通して、異なる文化を理解し、お互いの違いを認め合いながら共生できるような次代を担う青少年を育成します。</p> <p>(新)</p> <p>海外姉妹都市等でのホームステイ<u>やオンライン交流</u>を通して、異なる文化を理解し、お互いの違いを認め合いながら共生できるような次代を担う青少年を育成します。</p>



(続き)

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
8	3 3	姫路市で起業したい海外起業家の招致、国際物流倉庫等日本最大規模の倉庫の誘致、ICT 事業及び越境ビジネスに特化した企業を集約した企業育成ビルの整備、市独自の暗号資産の整備等に向けて、ファンド設立等により財源確保に努めるべきである。	(参考意見)  地域産業の活性化に向けて、商工会議所等の関係機関と連携しながら企業の国際的な展開を支援していきます。また、外国人材・外国企業にとって魅力のある都市にするため、外国人の方が暮らしやすい環境の整備に努めてまいります。
9	3 2 3 4	「デジタル姫路市」プラットフォームの立ち上げに努めるべきである (SNS を通じた世界中の人々との交流等)。	(参考意見)  海外姉妹都市等との友好親善交流に向けて、オンラインや SNS 等を活用するなど、新たな形での交流機会の提供に向けて取り組みます。また、各種国際イベントの開催や国際会議の誘致等を図り、これらの参加者との交流事業等を通じて、市民の国際感覚の醸成に努めてまいります。